

Ⓜ いちのみや

議会だより



第162号
2017.2

町のホームページで議会だよりや議会の
会議録等を見ることができます。
<http://www.townichinomiyachiba.jp>

一宮議会だより

検索

新成人おめでとう！

● 臨時議会	(2)
● 平成27年度決算を承認	(3)
● 決算審査特別委員会報告	(4)
● 決算認定討論	(5)
● 27年度決算要望・12月定例議会	(6)～(7)
● 賛否一覧	(8)
● 一般質問	(8)～(17)
● 議会報編集委員会視察研修報告・編集後記	(18)

臨時議会

平成28年第3回臨時議会が11月24日に開催され、議長及び副議長の交代と常任委員会の所属変更がありました。

正副議長就任あいさつ



議長 吉野繁徳

この度、議員皆様のご支援を賜り、議会議長の要職を担うことになりました。議長の仕事の重さに身の引き締まる思いであり、諸先輩方に負けないよう身を粉にして頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、現在の社会情勢は、人口減少の到来や、景気回復の浸透の遅れ、少子高齢化問題など、厳しい課題に直面をいたしております。

また、明るい話題では、いよいよ4年後に行われる東京オリンピックで、新たにサーフィンの競技が追加種目となり、この一宮町が競技開催地として決定いたしましたことは大変喜ばしいことであり、我々議会の果たすべき役割と責任は、ますます重要なものになってきていると感じております。

こうした課題に対し、町民の皆様の様々なご意見やニーズを踏まえ、適切な対応を図るとともに、公正かつ円滑な議会運営に努めて参りますので、今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 藤井敏憲

この度、議員各位のご推挙をいただき、副議長の重責を担うこととなりました。微力ではございますが、議長の補佐として精進して参りますので、よろしくお願いいたします。

地方分権時代を迎えた今日、地方の果たすべき役割と責任は大変重要なものとなっております。我々議会もその使命は格段に重いものであると思っております。これからも町民の皆様の期待に応えられるよう、一生懸命頑張るご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

常任委員会の所属変更

吉野繁徳 議長

(厚生から総務文教常任委員会へ)

島崎保幸 議員

(総務文教から厚生常任委員会へ)

各会計の決算状況

各会計の決算額

(単位：円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	4,952,745,945	4,716,811,385	235,934,560
国民健康保険事業特別会計	1,892,627,471	1,808,194,853	84,432,618
介護保険特別会計	1,054,021,200	1,035,078,879	18,942,321
後期高齢者医療特別会計	121,714,460	121,655,260	59,200
農業集落排水事業特別会計	105,904,843	101,124,916	4,779,927
合計	8,127,013,919	7,782,865,293	344,148,626



初日の出

平成 28 年第 4 回一宮町定例議会は、12 月 9 日に開催され、町長の行政報告をはじめ、閉会中の継続審査となっていた平成 27 年度各会計の決算審査の報告や 10 名の議員による一般質問が行われました。また、議案として条例の制定 1 件、条例の一部改正 2 件、一般会計の他 3 特別会計補正予算が原案どおり可決されました。

平成 27 年度決算を承認

トマト栽培施設建設事業 2 億 5,149 万円や地方創生関連事業 1 億 958 万円東浪見認定子ども園施設整備補助金 1 億 1,205 万円などを含む、平成 27 年度決算が承認されました。

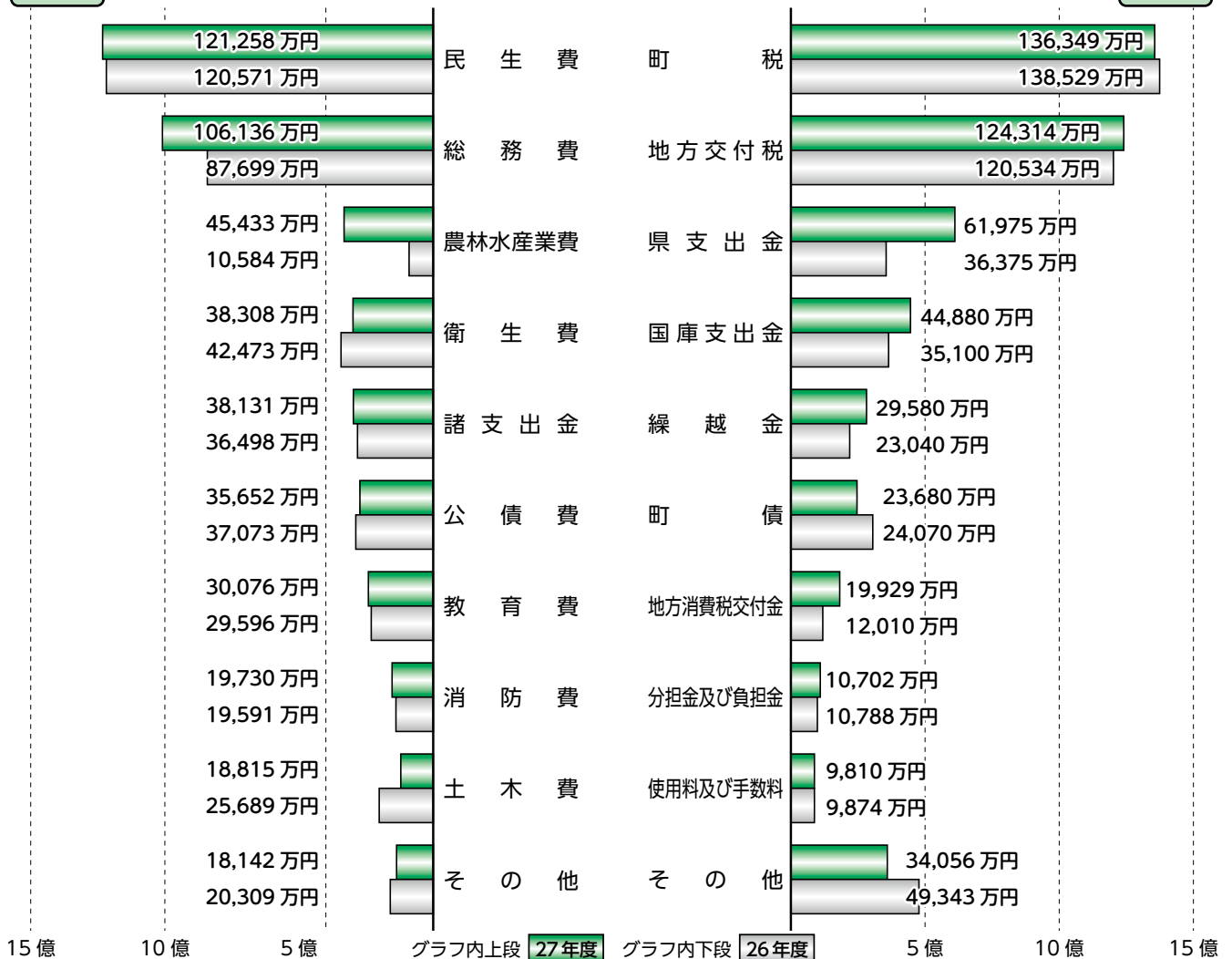
歳出

決算額：47 億 1,681 万円

一般会計の決算状況

決算額：49 億 5,275 万円

歳入



決算審査特別委員会 報告

(平成28年10月18日～19日開催)

平成27年度予算の執行状況が適正か否かについて審査を行いました

【審査結果】

- ・一般会計
- ・国民健康保険事業特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計

賛成多数により認定

- ・農業集落排水事業特別会計
- ・全員賛成により認定

質疑・回答

※質疑・回答は紙面の都合により、一部の掲載です。

《一般会計》

【総務課】

問 保育所の非常勤職員は、一宮保育所の民営化に伴いゼロになるのか。

答 29年度の公立保育所は原保育所だけとなるが、延長保育等の対応として、若干名の非常勤職員は残る可能性がある。

問 地方消費税交付金の増

税分は全て社会保障費の財源とのことだが、具体的にどのような事業に充てたのか。

答 増税分を財源に新たな事業に取組んだものではなく、障害者福祉など既存事業の財源に充てている。

【まちづくり推進課】

問 海岸トイレは、イベントごとに仮設を設置しているが、常設トイレの整備が必要ではないか。

答 津波対策として、現在保安林の土塁嵩上げが行われている。これに併せ、町

の道路4本も嵩上げ整備を行う予定であり、その整備が終わらなければ、トイレの配水(勾配)問題等があるため整備ができない。

【福祉健康課】

問 高齢者の見守り訪問事業の実施状況は。

答 26年度延べ1千7百46件、27年度が延べ2千2百53件で、27年度から希望者のみの対応をしている。

問 ひとり親医療費の支払方法見直しはできないか。

答 県の補助事業であり、町だけの改正はむずかしい。

【農業委員会】

問 太陽光発電施設は、農地転用された土地に多く、農地から切り離された状態だと、将来的に不採算となつた場合、荒地になってしま

う可能性が心配される。

答 実現可能な計画でなければ許可に至らない。計画書の提出があり、最低でも10年ないし15年の費用の計画も含めて提出してもらっている。

決算審査特別委員会委員

委員	長	藤 井	敏 一	憲 由
副委員	長	藤 井	一重	悦 永
委員	員	秦 鵜	清 美	枝 子
委員	員	渡 藤	幸 幸	恵 子
委員	員	井 井	幸 幸	子 恵

【事業課】

問 排水施設の浚渫・維持補修工事は、定期的に行わなければならない状況か。

答 ポンプ場のピット内に泥が溜まるので、ポンプ機能維持のためにも浚渫が必要。補修工事は、施設の老朽化等もあり計画的に行っている。

《国民健康保険事業特別会計》

問 被保険者数が増えているのに医療費が増えているのは何故か。

答 医療費がかかる年齢層が増えていること。また、高価な抗がん剤など、薬剤等に係る医療費の増加が著しい。

《介護保険事業特別会計》

問 被保険者が増えたが、認定者が減っている中で決算総額として3千万円増加している理由は。

答 転入者と65歳到達により被保険者は増加している。合わせて特養整備も含めた第6期事業計画で決定した1人当たりの保険料基準額が上がり、決算額で増加となった。

《後期高齢者医療特別会計》

問 医療費の状況と被保険者数の今後の動向は。

答 被保険者数については、少しずつ増えており、今後増える見込みである。また、医療費についても同様に増える見込みである。



現場踏査 最新技術のトマトハウス

決算認定 討論

《一般会計》

反対 更なる改善を
求める

渡邊美枝子委員

高校3年生までの医療費無料化、東野地区公園整備、東浪見小グラウンド整備など、評価できる点も多い。しかし、消費税が上がリ、年金は下がり暮らしが悪化する中、国保税、介護保険料に法定外繰入れをすべきであった。

また、小中学校の普通教室へのエアコン設置を画的にすべきであり更なる改善を求める。

賛成 着実な事業展開
がある

藤乗一由委員

歳入では、法人税率の改正や固定資産税の評価替えが影響し町税は3年ぶりの減収だった。一方で徴収率が向上するなど全体として歳入が確保されている。

歳出では東浪見こども園の建設、トマト栽培施設の建設など、新たな事業に積極的に取り組んだ点は、意欲的な姿勢が十分にうかがえ評価できる。次年度以降も計画的に財政運営を進めることを希望する。



決算審議中



《国民健康保険事業特別会計》

反対 一般会計繰入金で
保険税負担軽減を

渡邊美枝子委員

各種検診や保険指導など、予防医療に撤し、医療費抑制を図ってきたことは今後も続ける必要がある。

国保は社会保障であり、財源が厳しいからといって国保税の引上げで対処すべきではない。緊急措置として一般会計からの法定外繰入をすべきであった。更なる改善を求める。

賛成 健全運営に向けた取組
みがされ適正と判断

鶴沢清永委員

財政基盤の強化を図るため平成30年度から、運営主体が千葉県へと移行する。町は健全な運営を行うため、納税相談や特定健診、特定保健指導、人間ドック助成など、医療費の削減に努めている。

今後、厳しい運営状況が想定されるが全体として適正であった。

《介護保険特別会計》

反対 介護保険制度自体
が問題である

渡邊美枝子委員

介護予防事業に力を入れ、第6期計画の特養ホーム建設盛り込みは評価できる。

消費税8%、年金や実質賃金は低下する中、保険料引上げは容認できない。介護保険制度は相互扶助ではなく社会全体で支えるべきであり制度そのものに反対する。

賛成 介護給付費抑制は
評価できる

藤乗一由委員

制度改正に伴う地域での支え合い体制づくり、総合事業への移行や介護予防の推進に取り組む、計画どおり遂行できている。

また、介護予防推進員の協力により介護予防教室の開催も増え、介護認定者や介護給付費の増加抑制に努める姿勢は大変評価ができる。

《後期高齢者医療特別会計》

反対 制度の廃止を
求める

渡邊美枝子委員

消費税が8%に上がり医療費負担も所得により、これまでの1割から3割に変更された。ケースによっては、3割から1割に変更になる場合もあるが、差額分の返還は申請手続きが必要である。これは、高齢者泣かせの悪法ともいえ、制度の廃止を求める。

賛成 低所得者の軽減対策
など適正であり賛成

藤井幸恵委員

後期高齢者医療の運営は、県内全市町村で構成する広域連合が行っており、保険料は、広域化されているため平準化されている。

高齢者が適切な医療が受けられるよう可能な限り保険料の増加を抑え、低所得者の保険料軽減策などの取り組みも行っており、適切な決算と判断する。

平成27年度決算要望

10/18・19

1. 釣ヶ崎海岸エコトイレの管理について、当初ボランティアが管理をするということとトイレの設置を行った。その後ボランティアの人手不足など、いろいろな意見がある。オリンピック会場候補地ということもあり来遊客もある中、今後の管理体制の見直しを検討されたい。

2. 上総有機センターについて、環境対策の一環として行っている事業であるが、毎年、高額な公費負担をしている状況を鑑み、一般家庭菜園程度で堆肥の必要な方々には、無償で還元できないか検討を望む。

3. 17区（東野地区）に設置されている道路の車止めについて、東浪見区画整理組合問題も解決し組合は解散され道路は町に移管された。現在町が管理する町道において、17区以外には閉鎖された道路はない。交通量の問題や事故等の関係で反対意見もあるが車止めによる道路閉鎖に不便をきたしている。再度検討されたい。



釣ヶ崎海岸エコトイレ

定例議会で決まったこと

二重課税等を解消するための 条例を制定

(議案第1号)

日本と台湾との間での二重課税等を解消するため、「外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律」が一部改正されました。それに伴い関連する町税条例を改正しました。

国民健康保険税賦課徴収条例の 一部を改正する条例の制定

(議案第2号)

税条例の一部を改正する条例の制定にある同法律の改正に伴い一宮町国民健康保険税賦課徴収条例についても改正を行いました。個人住民税で課税されることとなった利子等及び配当等の所得について国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めます。

特定用途制限地域の 検討委員会設置条例を制定

(議案第3号)

現在、町内の大部分の地域が用途指定のない区域となっています。そこで特定の建築物の用途制限を定め、地域内にふさわしくないような建築物等を規制するため、特定用途制限地域検討委員会を設置するものです。

地方議会議員の厚生年金制度への 加入を求める意見書

(発議第1号)

地方議会議員の活動は幅広い分野に及び、より積極的な活動が求められています。昨年実施された統一地方選挙では、町村での議員への立候補者が減少するなど議員のなり手不足が大きな問題となっています。国民の政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を提出することとなりました。

同意

固定資産評価委員に次の方が同意されました。

委員 細谷俊夫 さん(新地区)

平成28年度 補正予算の概要

今回の一般会計補正予算では、駅前駐車場に観光案内施設を整備する地方創生事業、台風による甚大な被害を受けた農業施設などの復旧助成費、好評であった町内循環バスの経費などが追加され、原案のとおり可決しました。各補正予算の主な内容は、次のとおりです。 ※概数単位：万円（千円以下四捨五入）

会 計	補正額	補正後 予算総額	補正の主な内容
一般会計補正予算 (第5次)	25,205	457,515	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報発行事業 211 （内容充実と発行部数増による町勢要覧成） ・ ふるさと応援事業（寄付金増による謝礼ほか） 1,391 ・ 防災行政無線管理運営事業 109 （愛光・東浪見保育園外部アンテナ設置） ・ 巡回バス運行事業 79 ・ 駅前観光施設整備事業 11,271 ・ 新にここサービス車輛入替 151 ・ 重度心身障害時医療給付助成 571 ・ 障害児支援事業 308 ・ 子ども医療費助成（利用者増分） 330 ・ 農業振興事業（台風被害による支援補助金） 7,891 ・ 道路新設改良事業（トンネル長寿命化修繕計画委託料） 1,300 ・ 細田地先町道災害復旧工事 1,000
国民健康保険事業 特別会計補正予算 (第2次)	2,456	180,756	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付金（高額療養費） 2,378 ・ 人間ドック助成事業 79
介護保険 特別会計補正予算 (第2次)	39	105,877	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険計画（第7期）策定業務委託 （在宅介護実態調査費） 39
農業集落排水事業特 別会計補正予算 (第2次)	11	10,292	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部地区中継ポンプ修繕 11

補正予算の討論

〈一般会計〉

反対 町予算は町民を第一に考え
使われるべきである

鵜沢一男議員

補正には、駅前観光施設整備事業が含まれている。今必要なことは直売所の建設ではなく神門踏み切りの拡幅の可能性や夕刻の駅前に並ぶ迎え車輛による混雑の解消である。

町予算はまず、ここに住む町民を第一に考え使われるべきであり将来的なビジョンを踏まえれば今回の計画は拙速である。

反対 踏切対策の後に
検討すべきである

藤兼一由議員

駅前駐車場に直売所などの施設建設等の整備を急ぐことは、今後に神門踏切の拡張、駅前の渋滞緩和策その他に無理を来す恐れがある。この場所は、元々、駅西側周辺の交通の問題への

対策その他を含みとした用地であり、この計画のように施設を設置してしまうことは、駅前の渋滞対策や交通安全への対策の可能性を大きく減殺してしまう。この事業は、東口の動向が明確となり、その後、神門踏切対策がされた段階で検討されるべきである。

賛成 住民に密接した
予算である

鵜沢清永議員

今回の補正予算は、駅前観光施設整備事業をはじめ、台風被害からの早期復旧に向けた農業施設の復旧補助金や細田地先の町道復旧事業、更には、右肩上がりで増加を続ける社会保障費への対応などが提案されている。いずれにせよ住民に密接な事業であり、今後とも町が自立的、持続的、かつ安心・安全なまちづくりを進める上では必要な事業と考える。

副町長を選任すべきでは

答 選任する可能性もある



志田延子 議員

ふるさと納税をサーフィン発展に

答 関係者と協議する

問 2020年の東京オリンピックのサーフィン競技開催地に釣ヶ崎海岸が正式に決定した。

開催地整備の地元負担もあると聞く。ふるさと納税を活用して会場整備等に役立てるべきである。

寄付金の使途は、現在5項目あるが、これにサーフィン関連事業と返礼品を追加できないか考えを伺う。

総務課長 ふるさと応援戦略室の新設により、去年に比べ寄附件数は2.1倍、金額は3.25倍で約3千500万円の見込みである。

返礼品は、今年25品目を追加した。サーフィン関係者と協議する場を設け、サーフィンに関する返礼品の発掘を図ると共に、サーフィン満喫券の取扱店も再募集し拡張したい。

問 郡内には副町長会長があり、情報交換なども行われている。行政運営上副町長は必要不可欠である。現在副町長が不在だが、2020年のオリンピックが決まり業務多忙となる。町長だけでの対応は肉体的、精神的にも限界があるのではないかと。副町長を選任すべきと思うが考えを伺う。

町長 行政運営上の指示系統は確立しているのので、これまで副町長不在によるマイナスはなく、現在までは、副町長を選任する必要は感じていない。

今後、オリンピックの遂行上、涉外役、特に国や県の折衝を受けも専門的サポーターが必要になる可能性は考えられる。

議案審議賛否一覧

議案名	議員名	結果	議員																		
			議決結果	賛成	反対	幸恵	正満	渡邊美枝子	清永	一男	博之	一由	忍	保幸	重悦	佐衛	博敏	敏憲	繁徳		
認定第1号	平成27年度一宮町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第2号	平成27年度一宮町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第3号	平成27年度一宮町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第4号	平成27年度一宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第5号	平成27年度一宮町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第1号	一宮町税条例等の一部を改正する条例について	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第2号	国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号	特定用途制限地域検討委員会設置条例の制定について	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号	平成28年度一宮町一般会計補正予算（第5次）議定について	原案可決	12	3	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第5号	平成28年度一宮町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2次）議定について	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第6号	平成28年度一宮町介護保険特別会計補正予算（第2次）議定について	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第7号	平成28年度一宮町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2次）議定について	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意案第1号	固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は、採決に加わらないため「-」で表示

小安博之議員



一ノ宮駅東口改札の状況は

答 起債も含め組織委・県と協議

問 町はJR上総一ノ宮駅東口改札開設に向けJRと交渉中である。内容は、以下のとおりと提示された。

- ・設計費約8千万円
- ・工事費として簡易スイカの場合約6億7千万円、本スイカの場合は約8億6千万円
- ・町単独工事として東口広場整備（費用は不明）
- ・開設時間は朝夕各3時間程度で維持管理は人件費を含め年間5百～1千万円。

これらの費用負担は町としては非常に厳しいものであり、また朝夕各3時間のみでは、町の大きな発展は期待できないと考えるが見解を伺う。

まちづくり推進課長 JR東口改札開設は、平成元年からJR千葉支社と協議を行ってきた。

JRでは「二駅一改札」の原則があり、これまで開設要望を受け入れなかったが、平成23年に他町村にない独自の要件があれば協議に応じるとの回答を得た。

今回、オリンピックサーフィン競技会場となり独自の条件が整った。

オリンピックは、駅西口改札だけでは観客の対応は困難である事を要件に、駅東口改札について、仮設も含めオリンピック組織委員会と建設費の協議を行った。

事業費の起債について県と協議中であり、認可されれば10年間の一般起債事業となる。

早急な協議を行い結果を踏まえ、駅東口改札開設について議会で判断願いたい。



請願の審査結果

紹介議員を介して、次の請願が提出され、本会議で審議されましたが不採択となりました。

件名	請願者	紹介議員	審議結果
公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度に戻すことを求める意見書の提出を求める請願書	千葉県船橋市本町3-4-3 千葉県保育所問題協議会 会長 島田潤一	渡邊美枝子	不採択
保育士不足を解消するため、保育士の処遇を大幅に改善することを求める意見書の提出を求める請願書	千葉県船橋市本町3-4-3 千葉県保育所問題協議会 会長 島田潤一	渡邊美枝子	不採択
子育て費用の家計負担軽減化をはかるために保育料の低減化を求める意見書の提出を求める請願書	千葉県船橋市本町3-4-3 千葉県保育所問題協議会 会長 島田潤一	渡邊美枝子	不採択

イノシシ対策をどうする！



鵜野澤一夫議員

答 国・県補助事業を活用していく

別表1 近隣市町村の状況

	農業被害額 (万円)		イノシシ捕獲数(頭)	
	26年度	27年度	26年度	27年度
いすみ市	2,871	2,764	384	560
睦沢町	487	191	132	140
長南町	96	252	179	301
長柄町	115	208	201	352
茂原市	30	111	56	154
計	3,599	3,525	952	1507

問 当町には有害鳥獣アライグマの頭数が多いが最近、イノシシが急増している。山間部から餌を求めて、かなりの頭数が出る。そこで次の点を伺う。

① いすみ市、睦沢町、長南町、長柄町、茂原市の平成26、27年度のイノシシ捕獲数、農業被害額は。

② 町有害鳥獣対策協議会補助金の増額は。

③ 防護柵(電気柵)、箱わなの増設は。

④ 捕獲金は。

⑤ 国県補助金の有効活用は。

事業課長 ①(別表1のとおり)

② これまで猟友会への委託費として対策協議会の補助金を支出していたが、29年度は駆除時の報償費などに大幅な増額をした。

③ 電気柵を今後も地域の農家に推奨する。箱わなは、3基を追加する。

④ 29年度から協議会に捕獲金を助成する予定。

⑤ 国・県の補助事業を活用し、箱わなのパトロールなどを行う臨時職員の採用等の対策を進める。

別表2 当町における有害鳥獣捕獲数

	有害鳥獣捕獲数 (匹及び頭)			
	25年度	26年度	27年度	28年11月14日現在
アライグマ	19	21	15	55
ハクビシン	0	7	5	12
イノシシ	1	1	5	7
ニホンジカ	0	0	0	0
キョン	0	0	0	0
タヌキ	0	9	2	11



捕獲されたイノシシ

町内の赤道、青道の管理と整理を

答 個別に判断し対応する

問 町内に多数の赤道、青道があり、隣接者が管理方法などで大変困っているのが現状である。次の点を伺う。

① 町内赤道、青道の数は。

② 安全対策、管理方法を隣接者にどう説明するのか。

③ 近隣の方が管理に困っている場合もあり、売却できる道路は、整理すべきではないか。

赤道・公図上で赤く着色された敷地、(道路)農道、間道、獣道、路地、脇道、あぜ道、山道、里道

青道・昔の公図で青く着色されていた道路敷地、河川、水路

事業課長 ① 赤道1810本、青道914本である。

② 平成16年度町に帰属となり法廷外道路及び水路と名称変更され、基本は、町で管理している。雑草などの草刈の要望があれば町で対応する。また、安全対策は管理者である町で行う。

③ 売却できる土地の払い下げは、原則、隣接の地権者からの申し出により個別に判断している。

一般質問
議会の主な動き

渡邊美枝子
議員



エアコン設置はいつになる

答 全体の施設整備とともに検討

教育課長 小中学校の夏場の授業日の普通教室の温度や湿度を測定した結果、危険な日数は2日、注意が必要な日数は27日であった。施設整備の進捗状況では、一宮小学校グラウンド整備は近々実施計画書が完成予定で実施に向けて準備中である。中学校の校舎改修は、実施設計業務委託を要望する。

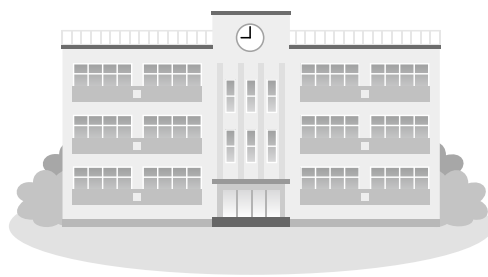
学校給食施設整備については整備方法を検討しながら

問 3月議会の一般質問に対する答弁で、夏場の小中学校普通教室における室温、湿度を測定するとのことだったが、その結果は。

次に、普通教室へのエアコン設置は、学校施設整備の優先順位の中で、見極めるとのことであった。この施設整備はどの程度進んでいるのか。

また、中学校校舎は老朽化しているので、校舎改修に合わせエアコンを普通教室に整備するのが望ましいが考えを伺う。

ら自校方式を維持する。全体の施設整備とともにエアコン設置を検討する。



【議長・議員が出席した主な行事】
(平成28年10月～12月)

10月	
1日	第3回一宮町ボランティア福祉フェスティバル
6日 8日	議会報編集委員会視察研修（広島県坂町役場）
11日	議会報編集委員会
18日 19日	決算審査特別委員会
20日	例月出納検査
23日	芸能と音楽を楽しむ会
24日	後期高齢者広域連合議会全員協議会
26日 27日	長生郡町村議会議長会視察研修（茅ヶ崎市・三浦市）

11月	
3日	農林商工祭
5日	文化祭
7日	後期高齢者広域連合議会定例会
9日	議長全国大会・長生郡町村議会議長会臨時会
15日	七歳児合同祝い・議会議員説明会
18日	千葉県町村議会議長会議長・副議長研修会
24日	第3回臨時議会
25日	新正副議長あいさつまわり
28日	例月出納検査・つくも会15連覇達成祝賀会

12月	
6日	長生郡市負担金審議特別委員会・議会運営委員会・議員全体会議・議会報編集委員会
8日	オリンピックサーフィン競技会場正式決定イベント
9日	第4回定例議会
14日	議会報編集委員会
16日	例月出納検査
19日	農業振興地域整備促進協議会
20日	長生郡町村議会議長会臨時会

就学援助の現状と対応は

答 必要に応じて改正等を行う

問 6月議会で就学援助の入学準備金支給時期の質問に対し「要綱の改正を含め検討」との答弁があった。その後の進捗状況は。

標準保護の所得基準と当町の入学援助金支給額についても伺う。

教育課長 要綱は、今後必要に応じて改正等を行い、実施に向けて現在準備している。

また、要保護（生活保護受給者）の所得を1とした場合、1.3倍が標準保護の基準となっている。現在のところ長生郡市7市町村が全て1.3倍となっている。入学援助金支給額は、小学校では1万9千900円、中学校では2万2千900円である。

一宮椎木長者線工事は どうなる

答 県に強く働きかける



鵜沢清永 議員

通学路は安全か

答 通学路を変更し安全に配慮

問 東浪見小学校から南にかけての国道128号線が通学路となっている。歩道が狭くデコボコで非常に危険である。この状況を把握して通学路に指定しているのか。



教育長 指摘の道路は道幅が狭く交通量も多いため、県に対して拡幅要望したが、用地買収などがあり困難との回答があった。

そこで東浪見小学校では、通学ルートを変更し児童の交通安全に配慮している。歩道については県に対して改善や整備等の要望をしていく。

問 県道一宮椎木長者線工事は、現在中断しているが交通量も多く危険な状況である。今後の工事予定を伺う。

事業課長 およそ140mの区間の盛土工事が終わり、今後は用地買収が終わった箇所から工事を継続される予定である。

危険な状況の早期解消を目指し、県に強く働きかけていく。



早期完成が望まれる一宮椎木長者線

オリンピック会場整備は

答 関係機関と協議を開始する

問 オリンピック種目サーフィンの開催地として釣ヶ崎海岸が決定したが、今後周辺の整備など、どう行っていくのか千葉県と話は進んでいるのか伺う。

まちづくり推進課長 県やオリンピック組織委員会に再三、協議を申し込んだ

が、県内で会場立候補している他市町もあり会場正式決定するまでは協議できないとの回答だった。しかし、正式決定されたので今後、早急に県、オリンピック組織委員会と会場を含め関係する全てについて協議を始める。



会場周辺の整備はどうなる？

一般質問

藤乗一由議員



町体育施設利用申込の 早期化を！

答 関係機関と協議検討する

問 ① 町は今後観光振興を重点に進めるのであるから、宿泊業者などからの早期申し込み受付も可能とすべきではないか。

答 ② 前回、受付の早期化は町民の利用に不利益となるとの回答だったが、稼働率の低い曜日だけを早期化する方法もあると提案した。これに對しどう考えるか。
③ 施設利用者からは、管理面での不便さなどの意見も聞く。こうした声や申し込みの仕組みも含めた全般について検討する組織を設置してはどうか。

教育課長 ① 事業者のみの早期申し込みは、町民の不利益と考えるが、他の自治体の状況を調べ、今後の対応を検討する。
②③ 各方面の実情を考慮しつつ、教育委員や社会教育委員、関係団体等と協議し、今後の対応を検討する。

駅東口開設計画、最終決断は？

答 開設を進めたい

問 ① 町の負担を含め、予算計画をどう考えているか。多額の予算支出の費用対効果をどう考えているか。

答 ② 多額の予算は、避難山などの防災面や、子ども子育て支援策などに使う方が望ましいのではないかと。③ 町民などへの意向調査をしないのか。
④ 計画推進には、29年3月には設計契約の必要があるとのことだが、最終決断まで時間がない。実際に東口設置を進めるのか。

まちづくり推進課長

① 可能ならば、起債により予算を組みたい。また、オリンピックでの駅東口利用を念頭に、組織委の一部負担を協議したい。費用対効果は、東口開設で移住定住が促進されると考えるが、金銭的試算はない。
③ アンケートなどの予定はない。

オリンピックで、町が目標とするものは

答 海岸インフラの整備を進めたい

問 ④ 開設は町の発展に大きく寄与するので実現したい。
町長 ② 防災・安全対策、子ども子育て支援策等は、東口とは切り離して考えたい。
④ 実現に向け模索する。

問 ① 会場決定までの進捗状況、今後の予算計画を伺う。

② 長野五輪開催地等への町の独自調査や、花火大会、十二社祭りなど集客数の多い行事を参考に、人や車の流れなどの調査、データ収集等をしてきたか。
③ 五輪開催の問題点、課題や利点は何か。町の成果目標とするための施策をどう進める考えか伺う。



上総一ノ宮駅ホーム踏切側より

まちづくり推進課長
① 県・組織委員会双方から、会場の正式決定まで、町と独自の協議はできないといわれており、町予算も未定である。今後、協議を進め、議会とも相談する。
② 町独自に調査や各種データの収集はしていない。
③ 負の遺産を残さず、町発展の結果を残したい。後に活用できる海岸インフラの整備促進を目標にした。

改めて問う、町長の公約

答 好循環なサイクルをつくる



藤井幸恵 議員

問 町長の公約について改めて伺う。

① 町長の公約は何か。
 ② 平成29年度予算の編成に向けて、町長の公約の、「何」を「どのように」反映したい、と考えているのか。
 ③ 「住民協働のまちづくり」に向けて、住民の皆さんが参画して何を取り組んでいるもの、動き出したプロジェクトなどがあるのか。

町長 ① 町の事業者や町の収入を増やすことを通じて、インフラ整備・教育・福祉のサービスを向上させる。これを町の経済力向上につなげてゆく好循環を作り出し、そのサイクルに積極的に関係者の参加を促す計画である。
 ② 一宮の魅力を発信する事業を進めるために、役員内部の組織を見直し秘書広報担当部門を強化する。
 町の観光強化策を進め収入増を図るため、
 ・まちづくり会社の活用。
 ・駅前観光案内所設置。

・地元の事業者の参加によるイベントの企画。
 ・一宮周遊観光プロジェクトプランの策定と実行等。これらを前提にプランを練り直す。

国の補助金を獲得し、移住勧誘活動、町内への企業の誘致を進めたい。

負担軽減で新たな子育て支援策は

答 きめ細かな支援施策に

問 町の子育て支援策について伺う。

① 2つの町立保育所を民営化した事により、どのくらい町の財政負担は軽減されたのか。
 ② 軽減された分、それは今後どのように子育て世代へ還元されるのか。
 新たな子育て支援策の考えはあるのか。

③ 参加したい方は誰でも参加できる百人委員会的な組織により住民参加を進め、観光強化策などの策定も進めたい。

費は全額町負担となるため、それ以上の効果があった。

② 第3子の保育料無料化など、すでに実施のものもあるが、今後も民営化してよかつたと思えるような支援、ひとりひとりにきめ細やかな財政効果を活かした施策を行う。

こんな質問もありました

11月22日に発生した地震当日の役場の動き・対応はどうであったか。

ご存知ですか？

議会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催される定例会と、急を要する特定の案件を審議するための臨時会があります。

開催日は、議会だよりに次回定例会の予定をお知らせしているほか、議会開催日の3日前から、防災行政無線でもお知らせをしています。

議会開催中は、住所・氏名等を傍聴受付簿に記入するだけで、どなたでも議会の傍聴することができます。

また、傍聴席での傍聴はチョット？と思われる方は、2階ロビーでテレビ中継もおこなっていますので、是非傍聴してみたいかですか。

一般質問

袴田 忍 議員



保育体制の整備を求める

答 県による監査の仕組みを活かす

問 現在、民営化された保育所には、利用者の安心で安全なニーズに応じた保育所を目指し、三者協議会が設置されているが、その状況全てを見わたすことは難しいと思われる。

保育所の運営には、そこで働く職員の待遇、保護者との対応、子ども達への保育の改善など、様々な問題があるが、細かい部分までチェックしていく第三者機関が必要ではないかと考える。町の見解を伺う。

福祉健康課長 社会福祉施設に対する監督や評価は、社会福祉法に基づき県や県が認証した第三者機関で行っている。

当町の民営化された保育所は、協定書に基づき県が指定した評価機関により、保育サービスの維持・向上など施設の運営に関して評価を受ける。

そのため町独自でなく、この機関を有効に活用し、町全体の保育環境の維持・向上を目指したい。

交通マナーの改善策は

答 啓発活動に努める

問 ① 歩行者・学童への安全を図る目的で道路に色塗りしたグリーンベルト上の迷惑駐車に対して町はどう対処するか。

② 高齢者の事故が後を絶たないが、町としての対策はあるか。

事業課長 ① 駐車違反等の取りしまりは警察の管轄であり役場ではできない。町では、歩行者の安全の

ために、歩行者と車との分離を明確にする努力が続けている。今後も、運転者のマナー向上に向けて、啓発活動に努める。

② 高齢ドライバーの事故などへの有効な対策は見いだせない。

国が29年3月に認知症対策を強化した道路交通法を施行するので、その改正法施行状況を見て検討する。

離岸流対策は

答 注意喚起を行う

問 一宮の海岸はヘッドランドがあるために、複雑な離岸流が発生して危険である。オリンピック会場となり、離岸流への対策をどのように考えているか。

事業課長 町で独自にできる具体的な安全対策はないので、各自で注意してほしい。

今後も、引き続き県と連携してパンフレットの配布などにより注意喚起を行う。

あなたも議事を
傍聴しませんか！

次回は3月6日(月)

午前9時からの予定です



グリーンベルト上に停車する車輛

子どもの貧困対策、 保険証の1年化検討を

答 保険証改善等検討したい

焔場博敏 議員



問 近年、子どもの貧困率が増加の傾向であり、国も平成26年「子どもの貧困対策法」を決めた。各自治体にも法に基づいた対策が求められているが、町の認識、計画、具体的取組みをそれぞれ伺う。

① 子ども達の食環境が悪化し学校給食の充実、食の保障が大切になっている。食育推進の重要性とともに給食費の滞納などで子どもに肩身の狭い思いやいじめの原因にはならない。給食費の無償化を目指し、まずは助成して父母負担の軽減を図るべきだと思いが考えを伺う。

② 経済的保障、国保保険証の18歳以下の子どもの短期保険証は6ヶ月更新でなく1年にすべきだがどうか。

福祉健康課長 法は貧困の連鎖を断つことを目的に自治体にも対策を求めている。町は県の計画に基づき施策に取り組む。



楽しい給食

教育長 ① 現在、給食費無償化は困難であるが今後給食費一部助成も保護者負担軽減対策として検討したい。

町長 ② 子ども達が生まれ育った環境に左右されず健康な生活を送るために、29年8月1日の保険証更新時に期限1年への変更を前向きに検討したい。

国保税引下げに交付金増額分を

答 不公平を生むので不適当

問 消費税8%への変更に伴い町に交付される地方消費税交付金の増額分は全額社会保障に使うよう指導がされた。国保税引下げに使うべきだがどうか。

総務課長 増収分を活用した国保会計への繰り出しは制限されていないが、国保加入者以外の方との税負担の公平性から適当でないと考えている。

TPP問題、取組の経過は

答 引き続き要望の検討をする

問 TPP反対の立場としては、地域のありようを大きく変えてしまうこの問題への取り組みの経過の説明を望む。

郡町村会で国に要望書を届けようと決めた点は高く評価したいが、まだ実行されてはいない。

国内の政治的な情勢の動きやアメリカの情勢も不安要素であるが、要望内容を手直ししながら早急に行動すべきと思うが決意を伺う。

町長 10月の郡町村会で提案し国へ要望すると決めた。その後、国会情勢が目まぐるしく動く中、文面の見直しを行いながら機会をうかがっていたが提出に至らなかった。

今後はアメリカの動向も見据えながら引き続き町村会で文面、要望時期についても検討したい。

こんな質問もありました
新年度予算編成方針を問う

一般質問

鵜沢一男議員



不妊治療に助成を

【答】29年度から助成を予定

不妊治療に関する調査 (2015)

不妊を心配したことはない		58.2%	
心配したことがある	検査や治療を受けたことがある	18.2%	35%
	医療機関にかかったことはない、他	16.8%	
不明		6.8%	

(国立社会保障・人口問題研究所 調査資料より)

参考として、次に主な不妊治療法の費用の相場について紹介します。

治療法	保険適用有無	費用
タイミング法	適用	1回数千円
人工授精	適用外	1回15,000円程度
体外受精	適用外	1回20～50万円
顕微授精	適用外	1回40～60万円

問 子供を望みながら不妊症に悩む夫婦は年々増加傾向にある。

国の調査では、不妊症の方の中で、検査や治療の経験や継続中の夫婦は6組に1組の割合である。

不妊治療は、健康保険が適用される一般不妊治療と、保険適用外の特定不妊治療に分かれる。

一般不妊治療は、不妊治療の初期段階で人工受精等

の治療である。特定不妊治療は、体外受精や顕微授精による治療である。

特定不妊治療は、1回当たりの医療費がおよそ30～50万円程度必要で、一般不妊治療から、高度な特定不妊治療まで受診すると、100万円～200百万円かかると言われる。

治療は、経済的負担が極めて大きく、特定不妊治療には健康保険が適用されず

に、すべて患者負担である。そこで、以下を質問する。

① 県は、特定不妊治療費助成制度を設けているが、県内のいくつかの自治体同様当町でも特定不妊治療費助成を行うべきではないか。

② 不妊で悩む方への対応の窓口を設けるなど支援体制を求める。

③ 不妊治療助成手続きは。

④ 町からの助成をどう考えているか。

福祉健康課長 ① 不妊治療費には、国・県の特定不妊治療費助成制度で費用の一部助成をしている。28年4月に初回の助成額が30万円に改正され、拡充された。町では県に対し、29年度予算に更なる上乗せ助成を要望する。

② 福祉健康課が窓口となり相談に応じ、助成制度の案内をする。専門的な相談は、長生健康福祉センターを紹介する。

③ 国庫補助事業を受けて、県が窓口となって体外受精、顕微授精、男性不妊



健やかに大きくなあれ

治療の助成をしている。助成申請は長生健康福祉センターで、要件が満たされれば助成を受け指定医療機関で治療を開始できる。

④ 町では、県の助成への上乗せを考えており、上限額を年間10万円として、29年度からの開始を検討している。

県内では22市町村が上乗せしている。県の助成後に、市町村に申請する。

議会報編集委員会視察研修

広島県坂町

小林正満

塩の香りと緑豊かな坂町へ議会報編集委員会は議長、事務局総勢8名で平成28年10月6日（木）に視察研修に行ってきました。坂町は、広島県南西部安芸郡の南に位置し、中四国地方の中心都市である広島市の南側に位置しています。人口は約1万3千人、面積は15.69平方Km、一般会計予算は51億円、議員数は12人、編集委員は7人です。



町村議会広報全国コンクール入賞（平成18年）また、奨励賞（平成19年・20年・22年）と受賞しています。

最初に庁舎前で迎えられて、役場4階議場に案内され第1委員会室で歓迎の挨拶、視察代表挨拶、議会報の編集について研修、質疑、意見交換などを行いました。

だき内容の濃い研修でした。

今後、研修の成果を議会だより作成に生かし、町民に親しまれる広報紙づくりにも努力していきたいと思ます。



特に議会だよりは、議員の宣伝やパフォーマンスの場にはさせない、町民のための議会だよりとする。

- ・ 質問内容は2行、全体で100字以内とする。
- ・ 議会だよりにはいろいろな注文する議員がいても新聞記者になつたつもりで書く。

といったアドバイスをいた

第4回定例議会が終わりました。3件の請願、10名の一般質問、平成27年度決算審査特別委員会委員長報告、議案7件等自身の詰まった議会でした。3件の請願は保育の問題で私が紹介議員となりました。結果は不採択でしたが、今後も賛同できる内容であれば、様々な請願を紹介したいと思います。議会というのはそういう場でもあるからです。

また、一般質問が10名というのも望ましいことだと思います。議会は言論の場ですから発言者が多いことは当然だと思います。

しかし紙面は限られています。そこで、一般質問の場合は、最も言いたいのはどこのかを正確に判断し、小さくまとめた文章にしなければなりません。その作業をみんなで行うの

が編集委員会です。編集委員会の席に着いたら誰もが中立な立場で質問者の意見を尊重しつつ作業を進めていかなければなりません。これは本当に大切なことだと思います。

話は前後しますが、定例会の前日には東京五輪のサーフィン会場が釣ヶ崎海岸に決まり、早朝から祝賀イベントで盛り上がりました。

編集後記

渡邊美枝子 記

